科　目	動物臨床栄養学Ⅰ

担当講師　津田圭子
実務経験有　獣医師免許　大学卒業後国、県、民間等に約20年勤務し公衆衛生研究部門に従事

開講年次	授業形態	選択/必修	授業時間
動物看護、動物管理学科　１年次前期	講義	必修	30

授業目標

六大栄養素を理解する。犬猫の必要栄養素の違いを理解する。ペットフードの表記を理解する。ライフステージの違いを理解する。BCS評価及びカロリー計算ができるようにする。

授業概要

基礎栄養素および主に犬猫に必要な栄養素、ペットフードの基本的な知識と特別療法食の特性など個体に合った。適切な食事管理についての知識を身につける。またペットフードの市場について考察する。

成績評価の方法

評価の基準は筆記試験による。また本科目受験には出席率が 3 分の 2 以上であることが必要。試験は 80～100 点が A 評価、70～79 が B 評価、60～69 までを C 評価とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし評価は C となる。

教　　材
動物栄養学（インターズー）、動物看護の実践（ファームプレス）√計算の出来る電卓を各自用意

授業計画　　　毎週月曜日　２限目　１０:５０～１２:２０

回	授業内容
1	基礎栄養素：六大栄養素とその働き　水、タンパク質について
2	炭水化物、脂肪、ミネラルについて
3	ミネラル、ビタミンについて
4	犬と猫の栄養要求の違い
5	ライフステージ別の栄養管理：繁殖期（妊娠期、授乳期）
6	繁殖期（妊娠期、授乳期）
7	成長期（哺乳期、離乳期、離乳後の成長期）
8	成犬・成猫期（維持期）高齢期
9	ペットフードの表示の見方 ＢＣＳ評価とカロリー計算の仕方
10	ＢＣＳ評価とカロリー計算の仕方 ペットフードの種類
11	まとめ確認小テスト
12	尿路結石症／猫下部尿路疾患 猫下部尿路疾患の原因と症状、尿路結石症の食事管理
13	尿路結石症の食事管理、尿路結石症の食事の与え方
14	心臓病：心臓病の原因、代表的な心臓病、慢性心不全の食事管理

科　目	動物臨床栄養学Ⅱ		
担当講師　津田圭子 実務経験有　獣医師免許　大学卒業後国、県、民間等に約 20 年勤務し公衆衛生研究部門に従事			
開講年次	授業形態	選択/必修	授業時間
動物看護、動物管理学科　2 年次後期	講義	必修	30
授業目標 六大栄養素を理解する。犬猫の必要栄養素の違いを理解する。ペットフードの表記を理解する。ライフステージの違いを理解する。BCS 評価及びカロリー計算ができるようにする。 授業概要 基礎栄養素および主に犬猫に必要な栄養素、ペットフードの基本的な知識と特別療法食の特性など個体に合った。適切な食事管理についての知識を身につける。またペットフードの市場について考察する。			
成績評価の方法 評価の基準は筆記試験による。また本科目受験には出席率が 3 分の 2 以上であることが必要。試験は 80～100 点が A 評価、70～79 が B 評価、60～69 までを C 評価とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし評価は C となる。			
教　　材 動物栄養学（インターズー）、動物看護の実践（ファームプレス）√計算の出来る電卓を各自用意			
授業計画　　　毎週月曜日　２限目　１０:５０～１２:２０			

回	授業内容
1	消化器病：膵臓の疾患とその食事管理、大腸の吸収の仕組み、大腸の疾患とその食事管理
2	腎臓病：慢性腎臓病の食事の与え方
3	肝臓病：肝臓病の栄養管理、肝臓病とその食事管理
4	糖尿病：糖尿病の仕組みとその症状、糖尿病の食事管理
5	食物アレルギー：食物アレルギーの原因と症状、食物アレルギーの仕組み、食物アレルギーの食事管理
6	食物アレルギーの食事管理、その他の皮膚疾患
7	がん：がんの栄養管理、がんの食事の与え方
8	脳の加齢と認知障害、肥満
9	甲状腺機能亢進症：甲状腺機能亢進症の仕組みと症状、甲状腺機能亢進症の食事管理
10	嗜好性
11	ペットフードの管理 ペットフードに関する規則
12	医療面接の目的、コミュニケーションの基本、栄養指導面接の基本的な流れ
13	小テスト
14	小テスト